

第1回 光明台中学校区 学校適正配置にかかる 意見交換会



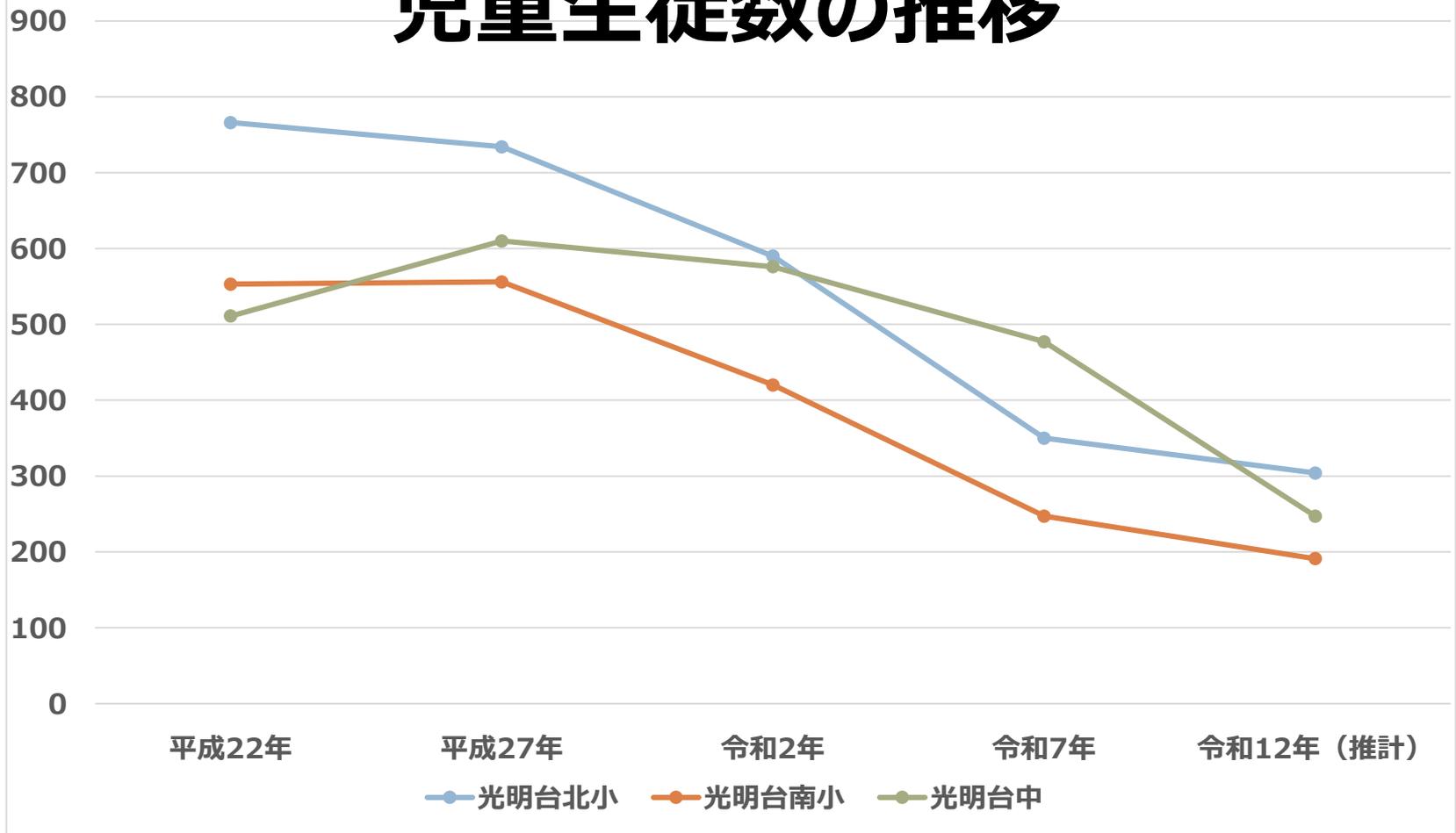
場所：光明台自治会館

光明台中学校区における 児童生徒数・学校施設の状況について

光明台中学校 校区図

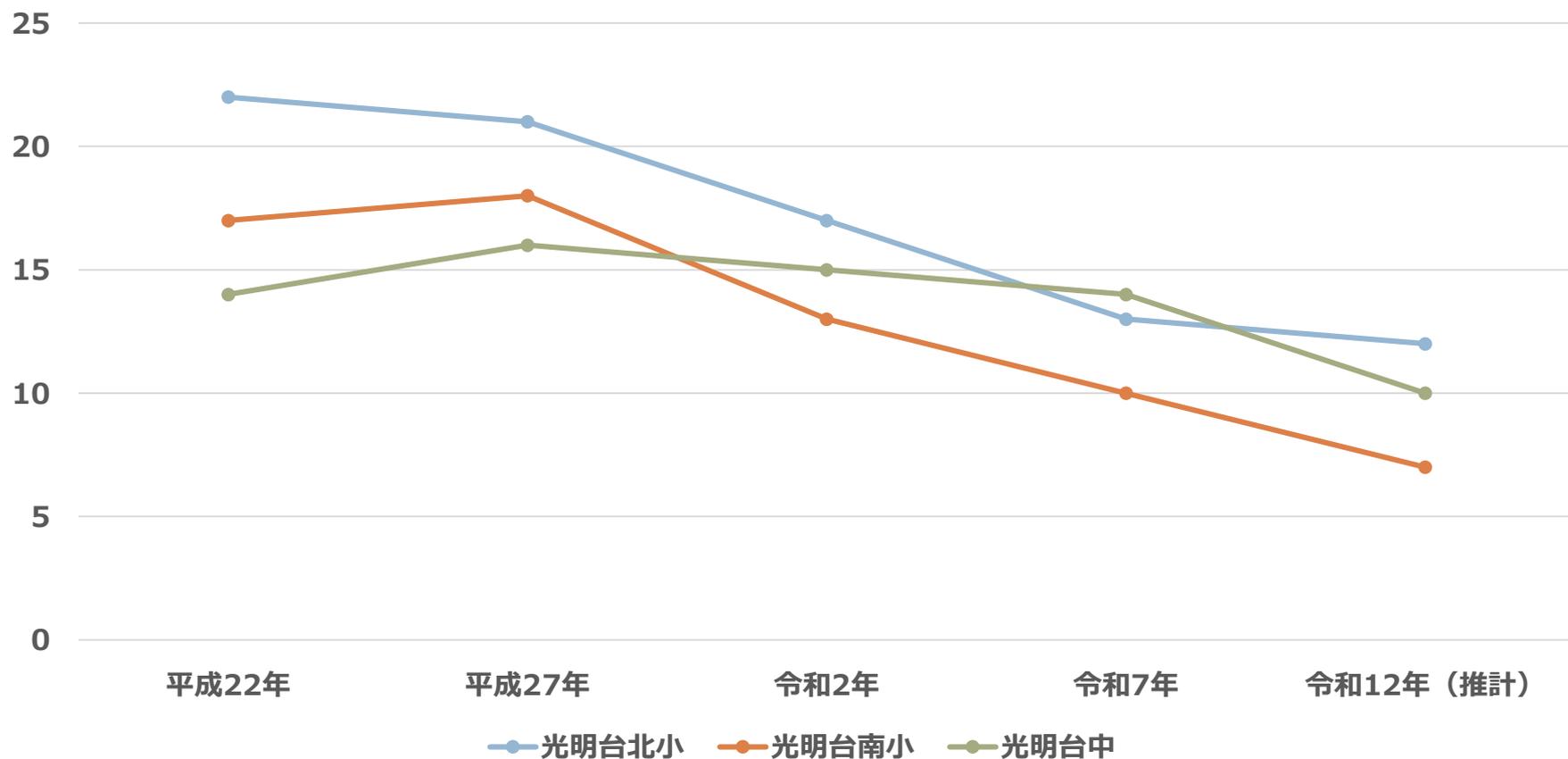


児童生徒数の推移



児童生徒数は年々減少している状況

学級数の推移



児童生徒数の減少に伴い、学級数も年々減少している
令和12年度時点では、光明台南小学校がほぼ単学級となる見込み

光明台中学校区におけるR12学年別児童生徒数・学級数見込

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
光明台北小	35 (1)	54 (2)	43 (2)	57 (2)	75 (3)	40 (2)				304 (12)
光明台南小	28 (1)	32 (1)	32 (1)	29 (1)	42 (2)	28 (1)				191 (7)
光明台中							89 (3)	83 (3)	102 (3)	274 (9)
統合した 場合	63 (2)	86 (3)	75 (2)	86 (3)	117 (4)	68 (2)	89 (3)	83 (3)	102 (3)	769 (25)

- ・R12年度の中学校区全体の児童生徒数は、**769人**となり、適正配置の検討基準945人を下回る。
(令和9年度に児童生徒数が945人を下回る(934人)見込み)
- ・特に光明台南小においては、6学年中5学年が1クラスだけの単学級となる。

学校の沿革

学校名	沿革	敷地面積	延床面積	築年数
光明台北小	昭和60年 現校舎に開校	22,006m ²	6,364m ²	40年
光明台南小	昭和53年 現校舎に開校	22,063m ²	5,543m ²	47年
光明台中	昭和53年 現校舎に開校	27,001m ²	7,311m ²	47年

- ・いずれの学校も、築40年以上の建物となっており、老朽化している状況
- ・一般的にコンクリートの耐用年数は60年となっており、学校統廃合による新校舎の建設がなければ、大規模改修による長寿命化が必要な時期

意見交換会の目的

意見交換会の目的

今後における児童生徒数、学級数の推移と、
学校校舎の築年数の状況を考えると、

このタイミングで光明台中学校区における
施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の
導入について、
地域の方と意見交換を行うことは
有意義なものであると判断したことから、
意見交換をお願いしようとするもの。

意見交換会の目的

施設一体型義務教育学校を導入することの意思決定については、

1. 地域説明会の開催
2. アンケート調査の実施
3. 和泉市適正就学対策審議会への諮問・答申
4. 教育委員会での意思決定

などの手続きが必要になります。

※南松尾はつが野学園、槇尾学園、（仮称）富秋学園も同様の手続きを実施してきました。

意見交換会の目的

については、まずは、地域の代表の方々と意見交換を行い、その状況を地域の方にニュースとしても発信しながら、疑問点や大きな方向性を整理し、地域説明会、アンケート調査につなげることができるよう、意見交換をお願いするものです。

現時点で、地域説明会、アンケート調査の時期は未定です。ただし、令和8年度中に意思決定を行い、令和9年度から具体の導入手続き・調整を進めるのであれば、令和8年の夏頃には、地域説明会、アンケート調査が必要となります。

意見交換会の目的

本意見交換会は、まずは、施設一体型義務教育学校を導入することについての意思決定調整を目的とします。

しかしながら、導入の意思決定がなされた場合には、開校までには、概ね7～8年程度を要するので、別途、学校開校準備委員会を組織し、

校名、制服、校章、校歌、通学対策、新校舎イメージなどについて、

具体的内容について意見交換を進めるものと想定しています。

※榎尾学園では、21回の開校準備委員会を開催し、開校に備え、（仮称）富秋学園も、現在16回の開校準備委員会を開催しています。

※学校跡地利用について、教育委員会での意思決定ができないため、関係部局との調整が必要となる予定です。

意見交換会の進め方

意見交換会の進め方

- ・次回は、3月での開催を予定しています。
後ほど日程調整を行う予定です。

- ・次回のテーマは、調整中ではありますが、

- ア) 新校舎の建設場所

- イ) 通学対策

- ウ) 学校跡地利用

などのうちから、意見交換をお願いしたいと考えております。

本日の進め方

・本日は、以下の内容を、まず、共有予定です。

- ア) 小規模校、小中一貫校について
- イ) 南松尾はつが野学園、槇尾学園の状況
- ウ) 小中一貫校に係る動画視聴

その後、本日の共有内容だけでなく、

- 1) 小中一貫校化を進めることの所感
- 2) 小中一貫校となる場合に気になること
- 3) 小中一貫校に関して聞きたいこと

などについて、グループ内で皆さんの意見を伺いたいと思います。
気になることなどを、次回以降、報告できるよう、調整していきます。

小規模校について

光明台中学校区におけるR12学年別児童生徒数・学級数見込(再掲)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
光明台北小	35 (1)	54 (2)	43 (2)	57 (2)	75 (3)	40 (2)				304 (12)
光明台南小	28 (1)	32 (1)	32 (1)	29 (1)	42 (2)	28 (1)				191 (7)
光明台中							89 (3)	83 (3)	102 (3)	274 (9)
統合した 場合	63 (2)	86 (3)	75 (2)	86 (3)	117 (4)	68 (2)	89 (3)	83 (3)	102 (3)	769 (25)

- ・R12年度の中学校区全体の児童生徒数は、**769人**となり、適正配置の検討基準945人を下回る。
(令和9年度に児童生徒数が945人を下回る(934人)見込み)
- ・特に光明台南小においては、6学年中5学年が1クラスだけの単学級となる。

小規模校の良さ

- ・児童生徒の一人一人に目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい
- ・児童生徒相互の人間関係が深まりやすい
- ・全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい
- ・保護者や地域社会との連携が図りやすい

小規模校の課題

- ・クラス替えが困難なことから人間関係が固定化しやすい
- ・集団の中で多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい
- ・運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい

施設一体型義務教育学校 (南松尾はつが野学園・榎尾学園)

における取組み状況

施設一体型義務教育学校とは

- 1年生から9年生となる学校
- 校長、副校長、前期課程（1～6年）教頭、
後期課程（7～9年）教頭 4人の管理職を配置
- 教育課程は他の学校と同じですが、
義務教育9年間を通したより系統的な教育課程を編成
- 1年生入学時に入学式、9年生卒業時に卒業式を開催
(6年生修了時に前期課程修了式・7年生進級時に立志式)

南松尾はつが野学園・槇尾学園における取組み状況

- ・職員室は1つとし、全ての教員が連携した体制を確保
→9年間を通した丁寧な生徒指導（中1ギャップの緩和）
- ・後期課程の先生が適宜、前期課程の授業で専科指導
→早い段階で、専門的な授業を受けることができる
- ・5年生からの部活動参加
- ・1年生から9年生までの多様な「たてわり活動」
→下級生の上級生に対するあこがれや、上級生から下級生に対する
思いやりの気持ちなどの醸成

南松尾はつが野学園・槇尾学園における取組み状況

- ・現校舎を使用するのではなく、新校舎を整備のうえ、開校
- ・可能な最新設備の導入
(ホワイトボード・プロジェクターの設置など)
→子どもたちが「通うのが楽しい」と思う学校に
- ・通学距離が2 km以上で遠くなる区域には、
スクールバス等の対応を確保
(※公共交通機関の運行状況も踏まえた対応)
→安心した通学が可能に

施設一体型義務教育学校の良さ

- 小学校から中学校への接続がスムーズに行うことができ、中1ギャップが緩和される
- 子ども達の実態や理解度、9年間の指導内容の系統性を考え、指導する時期（学年）や指導時数を柔軟に考えることができる
- 前期課程から一部教科担任制の導入や部活動参加が可能
- 下級生の上級生に対するあこがれや、上級生から下級生に対する思いやりの気持ちなど精神的な発達や社会性の育成効果が期待される
- 教員間で児童生徒の情報を共有しやすく、9年間を通した、きめ細やかで丁寧な生徒指導が可能になる

施設一体型義務教育学校の課題

- ・小学校卒業の達成感がない、中学校の新鮮さがない
- ・小学校高学年時に学校行事において、重要な立場となりリーダーシップや自主性を養う機会がなくなる
- ・思春期・反抗期の後期課程の生徒の行動や振る舞いが低学年の児童の発達に悪影響を及ぼす恐れがある
- ・人間関係が9年間固定化

**施設一体型義務教育学校
に係る動画を紹介します。**

意見・疑問等の共有 (グループワーク)

グループワークのテーマ

- ・現時点での小中一貫校に係る所感。

- ア) 賛成・前向き

- イ) まだ、わからない

- ウ) 否定的

- ・本日の説明に対する質問等

- ・小中一貫校について、気になること、ききたいこと

- ・12月に開催した施設見学会の感想

→本日いただいたご意見・疑問点を整理の上、
次回の意見交換会（3月予定）で説明します

今後の進め方

今後の進め方

- 次回の意見交換会は、3月開催を予定しています
(後ほど日程調整をお願いします)
- 本意見交換会の取組み状況をニュースとして発信します。
→登録された方には自動でメール配信します。
その他、学校を通じた配布や町会での回覧を
予定しています。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。